



リフトアップポイント及びジャッキアップポイント

警告:

次の項目を遵守しないと車両が落下し重大な傷害を負う恐れがある。

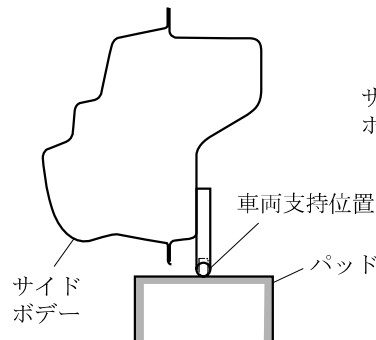
- リフト、ガレージジャッキ又はリジッドラックは、図示の支持位置にかけること。
- リフトを使用する際は、タイヤが4本とも床からわずかに離れたところでボデーを手で静かに揺すり、安定していることを確認すること。
- リフトを使用する際は、リフトの取扱説明書を参照し、必ず安全装置を機能させること。
- ガレージジャッキは、車体をジャッキアップするときに使用し、保持する際は必ずリジッドラックにかけ替えること。
- 前輪側又は後輪側のどちらか一方のみをジャッキアップする際は、必ず接地しているタイヤの前後に輪止めをあてること。

注記:

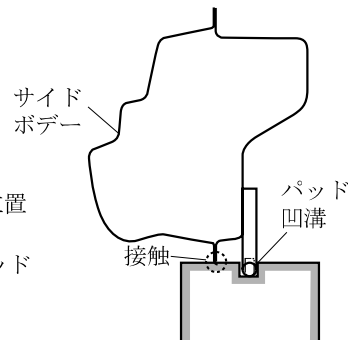
次の項目を遵守しないと車両に損傷が生じる可能性がある。

- ジャッキアップする際は、車体接触部にパッドをあてること。
- リフトなどを使用する際は、パッド又はアタッチメントとサイドボデーの干渉を避けるため、凹溝のないパッド又はアタッチメントを使用すること。
- 凹溝のあるパッド又はアタッチメントを使用する際は、パッド又はアタッチメントの向きを変えて車体支持位置が凹溝に入らないようにすること。
- ボードオンリフトを使用する際は、必ずリフト、リジッドラックの支持位置にアタッチメントなどをあてがってリフトアップすること。

適切なジャッキアップ



不適切なジャッキアップ



- ガレージジャッキを使用する際は、エンジンアンダカバー部にガレージジャッキの受け皿が当たらないように作業すること。

アドバイス:

- 空車時重心位置(1)は車両の装置仕様により異なる。左右位置はほぼ車両中央と見なして記載している。
- 2WD仕様車のサスペンションフレームには、支持位置(2)を車両前方から確認する際の目印としてリブ(3)を設けてある。エンジンアンダカバー非装備車におけるジャッキアップの際は、リブとリブの中央を目安にすることで、正確にガレージジャッキを配置することができる。